

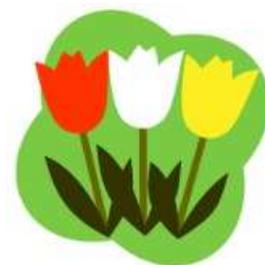
福島正美ニュースレター

立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



春便りの美しい季節

日頃皆様には大変にお世話になっております。新緑の春の訪れとともに新年度の飛躍を誓い新出発をされていることと存じます。立川市も本年度から向こう10年間に渡る新たな将来像を「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」と決めました。地方創生の時代、我々市民に最も身近な地方議会の意思と責任で魅力ある街を創り出す最大のチャンスと捉え、議会活動に邁進して参ります。



2月定例議会報告

平成27年第1回定例会が開催されました。過去最大規模730億円の一般会計予算が予算特別委員会にて承認され議決されました。また今後10年間に渡る新たな市政方針である「第4次基本構想」及び「長期総合計画」が議決されました。地方創生のための国の緊急事業補助金も交付され、新年度から市の「地方版総合戦略」を策定することになりました。今議会では公明党を代表し初めての代表質問を行いました。質問内容は以下の通りです。



- 市長任期2期目最終年度に当たる新年度予算に賭けた思いは何か
- 市長の政治信念について／次世代市民による未来会議の設置を
- 自治会加入促進条例の制定について
- 子ども子育て支援新制度による待機児童解消の取組み／家庭福祉員と保育園の連携保育
- 特別支援教室の全校配置について／小学校英語教育の推進
- 高齢者の憩いの場づくりとして「居場所カフェ」の創業を
- 客引き防止条例の制定を／スタンドパイプのさらなる普及と利用手続きの簡素化
- 公共施設のあり方方針について／指定管理者の選定の考え方について
- コンベンションシティ立川を目指す取組み／西国立駅前広場基本計画の策定について

福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>

フェイスブック <https://www.facebook.com/masami.fukushima.75>

福島正美 2月定例会での代表質問（要旨）

公明党を代表し代表質問を行いました。質問内容は以下の通りです。

◆市長2期目最終年度に当たる新年度予算編成に描いた思いは何か。

【市長】市民生活に直結するものは優先し、市民が安心して住み続けられる立川の未来に向けて、社会基盤構築の第一歩という思いで組み立てた。

◆次世代未来会議の設置を（第4次基本構想にない視点）

【答弁】次の世代の方々の意見や考えを聞くことは、新しい視点が得られ重要だ。

◆自治会加入促進条例の制定を（加入奨励を明文化）

【答弁】市民の間での機運の高まり等を勘案した上で考えていきたい。



◆子ども子育て支援新制度で待機児童解消はどれだけ進むのか

【答弁】公的保育の拡大で、地域型保育（家庭福祉員や小規模保育室）を適正且つ確実に実施し解消に努めていきたい。

◆家庭福祉員（保育ママ）と地元保育園との連携保育を

【答弁】入園前健診や園庭利用、休園時の代替保育等での連携を深めていく。



◆特別支援教室の全校配置を

【答弁】都のガイドラインを踏まえ、段階的に整備をし、平成30年度までに全小学校に配置を完了させたい。

◆高齢者の憩いの場づくりとして「居場所カフェ」の創業支援を

【答弁】憩いの場としてのサロン活動は重要であり、選択肢の1つとして考えている。

◆客引き防止条例の制定を（つきまとい勧誘行為防止条例の改正）

【答弁】現在条例の規制対象外となっている業態による客引き等の迷惑行為が課題として捉えており、条例改正も含めて協議していく。



◆指定管理者選定の考え方について

【質問】豊富な資金力や人手を持った大手がどうしても優位な傾向がある。地域の実情や視点、専門性を持った市の執行部責任者が選定委員に入るべきでは。

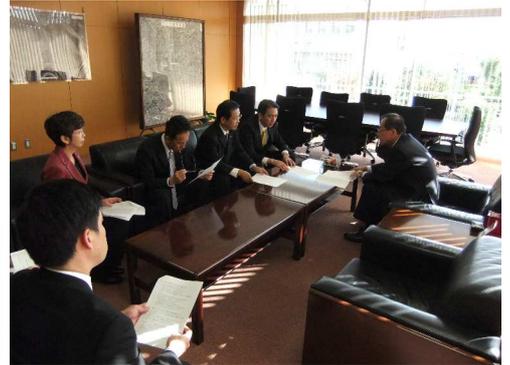
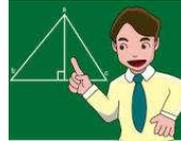
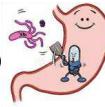
◆「コンベンションシティ立川」を目指すべきではないか

【質問】立川は広域的情報拠点としての貢献を目指し、企業の見本市や展示会等ビジネス及び文化芸術交流が生み出すコンベンション機能を目指すべきである。



平成27年度予算 我々公明党の推進・提案により 以下の施策が実現しました！

- ◆ 胃がんピロリ菌感染検査 公費助成(50～54歳の方)
自己負担額:6,000円 → 500円
- ◆ 小学校全校への学習支援員の配置(学力向上推進)
- ◆ 放課後・土曜日・夏休み等での補習授業実施
- ◆ 地域福祉コーディネーター市内全6圏域に配置(3→6人)
- ◆ 教育のICT化 中学校全校への校内LAN整備
- ◆ 認知症対策予防チェックの導入
- ◆ 高齢者の涼み処 公共施設に整備
- ◆ 福祉会館へ椅子の増設(32台)



これからも皆様の声を汲み取り、地域発、現場発の政策を実現してまいります！



!!

!!

羽衣1丁目交差点に待望の 右折信号が設置されました!



羽衣町1丁目22番地の 市道が舗装されました



羽衣町1丁目たましん交差点の都道に待望の右折信号が設置されました。長年地域並びに地元自治会「羽衣会」の皆様の切実な要望でした。交通量の多い交差点で車が曲がりきれず、交差点内に残ってしまうことが多くあり、左折してくる車との接触と歩行者を巻き込む危険が常にありました。昨年羽衣会の皆様と共に立川警察署に「要望書」を届けました。その結果東京都公安委員会からの決定が下り、2月25日稼働を始めました。これまで粘り強く要望を続けた地域住民の皆様のが警察を動かしました。

羽衣町1丁目22番の地住宅地内の市道が舗装整備されました。沿道の住民の方から、亀裂や凹凸が激しく、人が転ぶことがあるとの指摘があり舗装の要望を頂きました。広い範囲で舗装され、歩行の安全が確保されました。

立川市第4次長期総合計画

が策定されました

新たな将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」

市

は平成27年度から10年間に渡る市政運営の基本指針となる「第4次長期総合計画」を策定しました。長期総合計画は、基本構想及び前・後期基本計画（前期：平成27年～31年度／後期：平成32年～36年度）で構成される計画の総称で、立川市における最上位計画です。

【第4次基本構想】

本市が目指すまちづくりの将来像とその実現に向けて、まちづくりの方向性を示す5つの都市像を定めました。

《将来像》「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」

[都市像]

- 育ち合い、学び合う文化の香り高いまち
- 安全で、環境にやさしい快適なまち
- 人々が交流し、さまざまな価値が生まれる活力あるまち
- ともに見守り支えあう、安心して健やかに暮らせるまち
- 分権型社会に対応した持続可能なまち

【長期総合計画】

最上位計画

基本構想

(第4次基本構想)

基本計画

(前期基本計画／後期基本計画)

注目

地方創生について

地方創生の推進による地域活性化と人口減少克服のため、立川市は「地方版総合戦略」を策定します。これは政府の「まち・ひと・しごと創生本部」設置を受け、各自治体において地域の実情に合わせ、何に拠れば真の地域の活性化につながるかを自由な意思で考え実行する計画を策定するものです。

何に光を当て、何を掘り起こせば立川の地方創生につながるか、皆さんで考え、市に意見を主張しましょう！

《福島正美の考える立川版地方版総合戦略》

- 創業支援（インキュベーション）施設の開設
- 高齢者居場所カフェの創業支援
- W i f i（無線LAN）拠点の整備
- 小規模保育室の拡充（空き家・空き店舗等の活用）
- 子育て世代応援割引商品券の発行
- 観光バス発着所（南口モノレール下）の設置
- コンベンション機能の強化・拡大



市民相談いつでも
お気軽にご相談下さい
福島正美まで



□環境建設委員会副委員長

電話：042-522-9971

携帯：090-6545-2425

E-Mail:mf2933@yahoo.co.jp

URL:http://mf2933.sakura.ne.jp

